

枚方市議会議員 駅前配布版 第69号(通算82号)平成23年7月発行

かじや知宏 議員報告

〈生年月日〉昭和43年9月12日 〈年齢〉42歳 〈出身地〉大阪府枚方市 〈趣味〉読書、スポーツ観戦、神社仏閣巡り 〈血液型〉O型
〈経歴〉阪保育所→殿山第二小→枚方三中→牧野高→龍谷大→報知新聞社(11年)→枚方市広報課(3年3ヶ月)→行政書士

〈市役所〉〒573-8666 枚方市大垣内町2-1-20 電話072-841-1221代
〈自宅〉〒573-0171 枚方市北山1-23-57 電話090-3705-9393
Eメール tomohiro@t-kajiya.com

かじや知宏のホームページ
<http://www.t-kajiya.com>



枚方市議会の平成23年第2回定例会(6月議会)が、6月16日から29日まで開催されました。今号では、6月議会の案件の中から、議員提出議案で可決された議会改革調査特別委員会の設置について、私が初めて行った一般質問5項目のうち1項目について掲載します。

議会改革調査特別委員会を設置 さらなる議会改革の取り組みを進める

本会議において、議会改革調査特別委員会の設置が決まりました。地方議会への市民の視線が厳しくなる中、議会も行政改革を訴えるだけでなく、自ら(議会)の改革に取り組むことが求められています。今後、平成27年4月の任期末日までの常設の特別委員会として、議員報酬及び議員定数に関することをはじめ、議会の組織、運営等のあり方について調査・検討を行っていきます。

また、議会開会に先立って6月3日には「みんなの党市民会議」と「未来に責任・みんなの会」との共同で、改革に必要な案件を取りまとめ「議会改革要望書」として議長に提出しました。報酬及び定数をはじめ、議会基本条例の制定など14項目について検討していくよう要望しています。私たちの会派としては、市民から信頼と理解が得られる議会を構築するため、今後、要望した項目について実現できるよう努めていきます。

一般質問 「市長の政治姿勢について」など5項目の質問をしました

今回の一般質問では「シルバー人材センターへの事業委託」「災害時の情報伝達手段」「コミュニティー、自治会の政治活動と公職の推薦依頼」「中核市への移行」「市長の政治姿勢」の5項目について市に見解を求め、要望を行いました。今号では「中核市への移行」についての質問要旨を掲載します。その他の質問項目の要旨については、次号以降に掲載する予定です(正式な議事録については、数か月後に図書館等で閲覧できる他、市議会のホームページでも閲覧が可能です)。

第23回 市政報告会を開催します 枚方のまちづくりについて気軽に話し合いませんか

市議会の報告や、紙数の都合でこのチラシではお伝えすることができない突っ込んだ市政の話題など、自由な雰囲気での意見交換をしています。初めての方も大歓迎です。お気軽にご参加ください。

日時：7月27日(水) 午後7時～9時

場所：牧野生涯学習市民センター 2階 第1集会室

参加費：無料

内容：5月・6月議会報告、市政に関する意見交換、その他

※会場及び資料等の準備の都合がございますので、お手数ですが事前にかじやまでご予約ください。

「中核市への移行について」質問要旨

～竹内市長が中核市移行に急ブレーキをかけた後、再び移行を表明した理由は何か～

【かじや 質問】中司前市長の時、平成 19 年に中核市準備室まで組織し、中核市への移行について検討が行われていたが、竹内市長が就任してから急にブレーキがかけられ、本年になり再び移行を目指すこととなった。その主な理由は何か、また、この間どのような検討が行われていたのか？

【企画財政部長 答弁】当時、大阪府から仮の移譲事務の提示を受けて検討を進めてきた。しかし、府立枚方保健所の移管について、用地取得や建物の整備などに関し、府の協力が得られず、多くの市費を必要としたことから、慎重な対応を行ってきた。この間、保健所に関する課題解決に向け継続して検討を進めるとともに、平成 22 年度から 3 年間で府の協力が得られるとの見解が初めて示され、これまで成し得なかった保健所設置に関する課題を解決させることができた。

【かじや 質問】財政的な面で不安はあるが、権限の移譲により市民サービスが向上するという点では、中核市への移行という方向性については賛成だ。また、中核市への移行とは別に、府からの権限移譲について「権限移譲実施計画」を府に提出しているが、その進捗状況について聞く。

【企画財政部長 答弁】権限移譲については、平成 22 年度から平成 24 年度の 3 か年に 31 の事務移譲を受けていくとする「権限移譲実施計画」を府に提出し、これを基に順次移譲を受けている。また、計画では受けていくこととしていない 13 の事務についても、引き続き検討を行っている。

～中核市への移行と合わせて教員人事権の移譲についても検討を～

【かじや 質問】中核市移行に伴って移譲される事務の中に、府費負担教職員の研修がある。それに関連するが、教員人事権の移譲について、現在様々な議論が行われている。枚方市ではどのように考えているのか？

【学校教育部長 答弁】中核市になれば、教員の研修を実施することになる。人材育成の視点からすると、教員の研修と人事権はセットであることが望ましいが、人事権の移譲については、現段階では他の視点も含めて、そのメリット、デメリットを十分検討する必要があると判断している。

【かじや 要望】今後、枚方市の実情に応じた教育を推進していくためにも、中核市への移行と時期を合わせて教員人事権の移譲が受けられるよう検討をしていくことを要望する。

※中核市とは… 規模が比較的大きく一定の事務処理能力を持つ都市について、その事務権限を強化し、できる限り住民の身近で行政を行うことができるようにした制度。要件は人口 30 万人以上。大阪府では、東大阪市、高槻市が指定を受けている。枚方市が中核市に移行すると、府から保健所の設置や教員研修の実施など 2000 程度の事務の移譲を受けることになる。

長尾・牧野駅前で議員報告を行っています ～390 回継続中～

市民の皆さまと市政情報を共有したいとの思いから、午前 6 時 20 分頃～8 時 30 分頃に長尾・牧野駅前「かじや知宏 議員報告」の配布とそのご報告を行っています。平成 18 年 7 月に開始した駅前での報告活動も、ついに 5 年目に突入し、トータルで 390 回を数えました。これからも継続していきますので、もし駅前で見かけられましたらお気軽にお声掛けください。

活動の詳細については「かじや知宏のホームページ」をご覧ください

ブログも随時更新中！

詳しくは で

携帯電話からも私の活動記録をご覧になることができます→

